

第3次計画指標と第4次計画指標の対応表

第3次計画指標	平成26年度	令和元年度	令和6年度	達成状況	第4次計画指標
①社会全体で男女が平等であると思う人の割合	女性 8.7% 男性 21.7%	女性 9.6% 男性 23.4%	女性 13.3% 男性 20.6%	○	①社会全体で男女が平等であると思う人の割合
②「男は仕事、女は家庭」という考えに「同感しない」又は「どちらかといえば同感しない」人の割合	女性 56.0% 男性 45.6%	女性 66.4% 男性 57.2%	女性 78.6% 男性 60.9%	○	②「男は仕事、女は家庭」という考えに「同感しない」又は「どちらかといえば同感しない」人の割合
③「子どもが小さいうちは、母親は仕事をしないで、子どもの世話をしたほうがよい」という考えに「同感しない」又は「どちらかといえば同感しない」人の割合※1	女性 23.9% 男性 18.9%	女性 38.2% 男性 28.8%	女性 51.8% 男性 39.1%	○	③「子どもが小さいうちは、母親は仕事をしないで、子どもの世話をしたほうがよい」という考えに「同感しない」又は「どちらかといえば同感しない」人の割合※1
④料理、掃除、洗濯などの家事を「男の人と女の人が協力してするのがよい」と考える人の割合※1	<小学生> 女子 59.6% 男子 50.8% <中学生> 女子 63.9% 男子 54.3% <高校生> 女子 78.9% 男子 57.5% <大学生> 女性 86.2% 男性 64.8%	<小学生> 女子 73.1% 男子 57.5% <中学生> 女子 80.2% 男子 56.6% <高校生> 女子 81.9% 男子 68.3% <大学生> 女性 92.1% 男性 81.9%	<小学生> 女子 83.2% 男子 77.3% <中学生> 女子 85.7% 男子 80.7%	○	
⑤子どもが小さいときの子育てを「男の人と女の人が協力してするのがよい」と考える人の割合※1	<小学生> 女子 63.2% 男子 56.1% <中学生> 女子 72.2% 男子 61.5% <高校生> 女子 83.1% 男子 66.5% <大学生> 女性 87.2% 男性 73.6%	<小学生> 女子 73.6% 男子 60.8% <中学生> 女子 78.4% 男子 62.8% <高校生> 女子 85.8% 男子 73.2% <大学生> 女性 90.9% 男性 81.9%	<小学生> 女子 76.9% 男子 69.8% <中学生> 女子 84.9% 男子 75.4%	○	④お金を稼ぐ仕事を「男の人と女の人が協力してするのがよい」と考える中学生の割合 ※特に男子の役割分担意識が強い「お金を稼ぐ仕事」を指標とする
⑥お金を稼ぐ仕事を「男の人と女の人が協力してするのがよい」と考える人の割合※1	<小学生> 女子 47.1% 男子 35.2% <中学生> 女子 54.6% 男子 32.7% <高校生> 女子 66.5% 男子 37.2% <大学生> 女性 73.4% 男性 40.8%	<小学生> 女子 63.5% 男子 43.8% <中学生> 女子 66.1% 男子 45.1% <高校生> 女子 74.4% 男子 51.3% <大学生> 女性 78.3% 男性 62.7%	<小学生> 女子 75.6% 男子 66.2% <中学生> 女子 76.8% 男子 59.9%	○	

第3次計画指標と第4次計画指標の対応表

第3次計画指標	平成26年度	令和元年度	令和6年度	達成状況	第4次計画指標
⑦「男女共同参画社会」という言葉を「見たり聞いたりしたことがある」人の割合※2	女性 54.3% 男性 69.3%	女性 61.5% 男性 69.1%	女性 65.8% 男性 79.4%	○	⑤「男女共同参画社会」という言葉を「見たり聞いたりしたことがある」人の割合
⑧「女子差別撤廃条約」という言葉を「見たり聞いたりしたことがある」人の割合※2	女性 42.3% 男性 50.7%	女性 49.7% 男性 50.0%	女性 50.6% 男性 57.3%	○	⑥「男女共生フロア・ウィル」という言葉を見たり聞いたりしたことがある人の割合
新設			女性 12.4% 男性 9.3%		⑦枚方市の性的マイノリティ支援施策を一つも知らない人の割合
新設			女性 62.0% 男性 71.8%		⑧配偶者・パートナーや恋人からの暴力に関して、どんな理由があろうと暴力をふるう人が悪いと考える人の割合 ※DV（暴力）に関して正しい認識をしている人の割合を指標とする。
⑨「暴力を受けている人は逃げようと思えば、いつでも逃げ出せるはず」と考える人の割合※1	女性 16.1% 男性 22.3%	女性 19.5% 男性 11.6%	女性 13.3% 男性 10.5%	○	
⑩「暴力をふるわれた人にも、何らかの原因があるので、暴力をふるう人を一方的には責められない」と考える人の割合※1	女性 10.8% 男性 19.2%	女性 11.6% 男性 20.0%	女性 7.8% 男性 12.5%	○	
⑪夫婦間における「なぐったり、けったり、物を投げつけたり、突き飛ばしたり、ひきずりまわしたりする」行為を「どんな場合でも暴力にあたると思う」人の割合※1	女性 92.0% 男性 88.7%	女性 96.5% 男性 93.8%	女性 97.4% 男性 95.6%	○	
⑫夫婦間における「大声でどなったり、なぐるふりをして相手を脅したりする」行為を「どんな場合でも暴力にあたると思う」人の割合※	女性 68.9% 男性 53.8%	女性 74.8% 男性 65.9%	女性 83.1% 男性 77.4%	○	

第3次計画指標と第4次計画指標の対応表

第3次計画指標	平成26年度	令和元年度	令和6年度	達成状況	第4次計画指標
⑬男女交際について 「相手がいやがっているのに無理やりキスしたり、体をさわったりする」行為を「へんだとと思う」人の割合※2	<中学生> 女子 95.4% 男子 94.2% <高校生> 女子 96.4% 男子 91.4%	<中学生> 女子 98.7% 男子 92.9% <高校生> 女子 96.9% 男子 94.6%	<中学生> 女子 97.4% 男子 93.5%	○	⑨男女交際について、「メッセージの返信が遅いといつも怒る」行為を変だと思う中学生の割合 ※令和6年度実施の男女交際の関係に関するアンケート結果で、最も割合が低いもの（女子 68.4%、男子 68.4%）を指標とする
⑭男女交際について 「友人とのつきあいをいやがったり、禁止したりする」行為を「へんだとと思う」人の割合※2	<中学生> 女子 89.7% 男子 83.2% <高校生> 女子 92.9% 男子 87.2%	<中学生> 女子 95.2% 男子 89.4% <高校生> 女子 91.7% 男子 89.7%	<中学生※3> 女子 87.5% 男子 84.2% <高校生※4> —	△	
⑮「デートDV」という言葉を「知っている」又は「聞いたことがある」人の割合※2	<中学生> 女子 32.0% 男子 19.8% <高校生> 女子 89.0% 男子 77.1% <大学生> 女性 75.5% 男性 64.8%	<中学生> 女子 59.1% 男子 44.2% <高校生> 女子 89.0% 男子 85.8% <大学生> 女性 70.8% 男性 57.2%	<中学生> 女子 63.8% 男子 61.1% <若年※5> 女子 63.2% 男子 54.6%	○	⑩「デートDV」という言葉を知っていると答えた中学生の割合
⑯過去1年間に配偶者から身体的暴力、精神的暴力、性的暴力のいずれかを受けたことがある人の割合	●身体的暴力 女性 12.0% 男性 9.0% ●精神的暴力 女性 17.1% 男性 12.7% ●性的暴力 女性 9.7% 男性 3.9%	●身体的暴力 女性 9.6% 男性 11.7% ●精神的暴力 女性 19.2% 男性 17.5% ●性的暴力 女性 11.5% 男性 2.9%	●身体的暴力 女性 9.5% 男性 5.2% ●精神的暴力 女性 18.3% 男性 11.7% ●性的暴力 女性 9.3% 男性 2.8%	○	
⑰身体的暴力、精神的暴力、性的暴力のいずれかを受けたことがある人の割合※2	●身体的暴力 <高校生> 女子 3.3% 男子 7.6% <大学生> 女性 15.4% 男性 13.4% ●精神的暴力 <高校生> 女子 8.2% 男子 8.2% <大学生> 女性 23.1% 男性 16.5% ●性的暴力 <高校生> 女子 7.5% 男子 3.0% <大学生> 女性 12.8% 男性 13.4%	●身体的暴力 <高校生> 女子 0.0% 男子 3.3% <大学生> 女性 5.6% 男性 5.3% ●精神的暴力 <高校生> 女子 4.5% 男子 6.7% <大学生> 女性 11.3% 男性 9.5 ●性的暴力 <高校生> 女子 6.4% 男子 2.5% <大学生> 女性 11.8% 男性 4.3%	●身体的暴力 <若年> 女性 2.1% 男性 5.6% ●精神的暴力 <若年> 女性 9.6% 男性 2.8% ●性的暴力 <若年> 女性 10.7% 男性 2.8% (※3)	—	⑪過去1年間に配偶者から身体的暴力、精神的暴力、性的暴力のいずれかを受けたことがある人の割合 ※⑯については0に近い割合となつてゐるため終了
⑲DV被害を受けたときの相談窓口をひとつも知らない人の割合※1	女性 5.7% 男性 5.4%	女性 4.4% 男性 2.5%	女性 1.7% 男性 1.6%	○	

第3次計画指標と第4次計画指標の対応表

第3次計画指標	平成26年度	令和元年度	令和6年度	達成状況	第4次計画指標
⑯「ひらかたDV相談室」という言葉を「見たり聞いたりしたことがある」人の割合※1	女性34.2% 男性20.0%	女性28.9% 男性17.5%	女性38.2% 男性29.8%	○	⑰「ひらかたDV相談室」という言葉を「見たり聞いたりしたことがある」人の割合
⑯「DV防止法」という言葉を「見たり聞いたりしたことがある」人の割合※1	女性87.7% 男性88.2%	女性89.6% 男性89.7%	女性89.5% 男性91.9%	○	⑰「ひらかたDV相談室」という言葉を「見たり聞いたりしたことがある」人の割合
新規			45件		⑯男女共生フロア・ウィルでの相談件数
新規			女性84.3歳 男性80.2歳 (令和3年度)		⑰健康寿命
⑯枚方市は安心して子育てできる環境が整っていると感じている人の割合※1	37.9% (平成27(2015年度))	44.5%	45.8%	○	⑯枚方市は安心して子育てできる環境が整っていると感じている人の割合
⑯国の定義による保育所等の利用待機児童数(4月1日現在)	36人 (平成27(2015年度))	0人	0人	○	個別の事業目標のため指標から削除
⑯留守家庭児童会入室の待機児童数(前年度1月末現在)	0人 (平成27(2015年度))	3人	0人	○	個別の事業目標のため指標から削除
⑯特別養護老人ホームなど介護保険施設等の施設数	80施設	86施設	89施設	○	個別の事業目標のため指標から削除
⑯育児に伴う休暇・休業を1月以上取得した男性職員の割合	—	47.5%	88.5%※2	○	⑯市職員における男性職員の育児休業(2週間以上)の取得率(変更)
⑯「ワーク・ライフ・バランス」という言葉を「見たり聞いたりしたことがある」人の割合※3	女性40.4% 男性45.1%	女性55.1% 男性63.4%	女性67.5% 男性71.8%	○	削除
⑯枚方市は安心して妊娠、出産できる環境が整っていると感じている人の割合※	37.3% (平成27(2015年度))	38.5%	39.8%	○	削除
⑯乳がん子宮頸がん検診受診率	●乳がん17.2% ●子宮頸がん23.1%	●乳がん13.7% ●子宮頸がん17.0%	●乳がん12.4% ●子宮頸がん18.4%	△	個別の事業目標のため指標から削除
⑯妊娠11週以下の妊娠の届出数／全届出数	95.2%	96.9%	96.3%	○	個別の事業目標のため指標から削除

第3次計画指標と第4次計画指標の対応表

第3次計画指標	平成26年度	令和元年度	令和6年度	達成状況	第4次計画指標
⑩特定健康診査受診率	32.5%	33.6% (7月末速報値)	35.6% (6月1日速報値)	○	
⑪こころの病気に関する相談窓口を知っている人の割合	23.7% (平成27)	26.1%	43.8%	○	
⑫ひとり親家庭を対象とした自立支援教育訓練給付金や高等職業訓練促進給付金の受給者のうち就職した人数(累計)	自立支援教育訓練給付金 1人 高等職業訓練促進給付金 12人	71人	101人	○	個別の事業目標のため指標から削除
⑬枚方市防災会議の委員に占める女性の割合	7.5%	15.0%	12.8%	○	⑯枚方市防災会議の委員に占める女性の割合
⑭市役所における女性管理職割合	21.7% (平成27 (2015年度)	26.0%	28.1%	○	⑮市役所における女性管理職割合
⑮市役所における女性委員比率が35.0%を達成している審議会割合	50.0%	55.2%	55.6%	○	⑯市役所における女性委員比率が35.0%を達成している審議会割合